

日本共産党

中央区議団ニュース

発行

日本共産党中央区議会議員団
中央区築地1-1-1

中央区役所9階

TEL 3546-5563 FAX 3546-9570



質問するおぐり智恵子議員

脱炭素社会へまちづくりの転換を

東京五輪よりコロナ収束に全力を

中央区議会第一回定例会が2月26日から3月30日まで行われます。
3月2日に、日本共産党区議団を代表して、おぐり智恵子議員が一般質問を行いました。

大型開発優先の見直しを

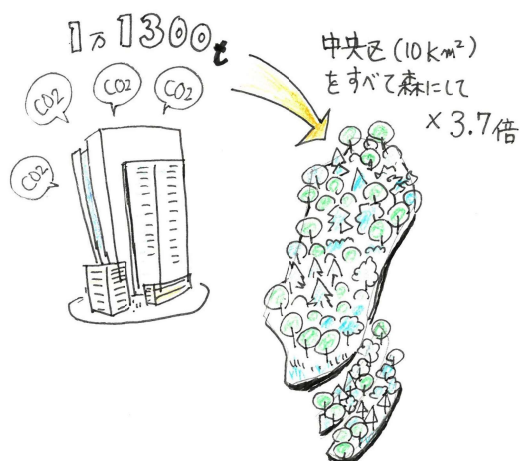
所信表明で山本泰人区長は、近年気象災害が頻発していることから「もはや気候変動は、私たちの生存基盤を揺るがす気候危機というべき状況にある」と述べ、「脱炭素社会の実現を目指して」いくとして、「中央区の森」事業や街路樹、東京高速道路の「緑のプロムナード化」などの緑化推進を図ると述べました。

しかし、檜原村にある「中央区の森」はこれまで50ヘクタールの森林保全活動を展開してきましたが、吸

収できるCO₂は年間約150トンといわれています。

一方、区内では大規模な再開発が29地区で進められています。例えば八重洲駅前の北地区再開発ビルだけで、完成後CO₂が1万1300トン発生する予測となっています。このCO₂を「中央区の森」事業で吸収しようとしたら、3700ヘクタール中央区の面積の約4倍の森が必要となります。

おぐり議員は、巨大開発で莫大なCO₂、温室効果ガスを増やし続け、環境破壊を続けるまちづくりを転換する



1つの超高層ビルのCO₂を吸収するだけでも、中央区の面積の約4倍の森林が必要になります

【質問項目】

1. 区長の所信表明について
2. 新型コロナウイルス感染症対策について
3. 後期高齢者医療の窓口負担2倍化について
4. 行政のデジタル化と個人情報保護について
5. 教育問題について
6. 東京五輪の開催について



←党区議団ホームページに全文掲載中
ぜひご覧ください

東京五輪再検討の申し入れを

区長は「再開発による床の集約により都市のコンパクト化が図られ、都市全体の温室効果ガス排出量の削減につながる」と答弁し、これからも巨大開発を進めていく姿勢でした。

よう求めました。

おぐり議員は、東京五輪は世界的なコロナ拡大で今夏の開催は困難な状況であり、選手村を抱える区として、「五輪ありき」でなく開催の是非の再検討を国に申し入れるよう求めました。

区長は「おもてなしの取組など、都や組織委員会と連携して、安全・安心な大会に向け、引き続き協力する」と答弁しました。

「中央区民アンケート」へのご協力ありがとうございます

日本共産党区議団ニュース3月号に添付されている「中央区民アンケート」に3/12日現在200人をこえる返信をいただいています。ご協力いただきありがとうございます。

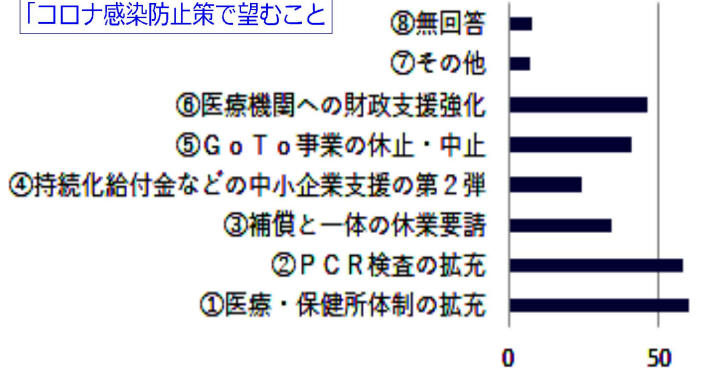
コロナ感染への対応策について

選択肢集計は右グラフ、自由記述の一部をご紹介します。



- *「医療・公衆衛生の充実により徹底してコロナを抑え込んで、それが何よりの経済対策。Go Toはお金と時間に余裕のある方を利すり、財源は次世代への付け回しで賛成できません」
- *「会社の経営状態が良くないと昨年10月より賃金カットが実施されている」
- *「医療従事者（介護従事者含め）に対し、手当を充実させ、頑張り続けて頂いていることに報いるべき」
- *「非正規で、海外に関する旅行業をしていますが現在仕事なし。新しい仕事も探しているが不採用続きである。休業支援金が今後必要」
- *「コロナ影響で前職を解雇され転職したが生活が苦しい。千代田区のように一律の給付金を

「コロナ感染防止策で望むこと」



お願いしたい」

- *「仕事はタクシードライバー、収入が45%減って生活がきつくなっている」
- *「医療・介護の現場で働くすべての方々が継続して勤務できるよう待遇改善の支援を」
- *「登園自粛で食事費用、家事労働の負担が増えた」
- *「飲食店を経営しています。検査もしないで休業、時短と言われても困ります。わずかでも補償があって何とか生き延びて行けるうちは良いですが、この状態の後では再開後の不安も今以上にあります。休業、時短等に伴い借入しましたが、今までの借入もあり精神的な不安で一杯です」
- *「日本の補償が甘く感じる。支援などしっかりしないと収まるものも収まらない」
- *「変異株の検査を強化してほしい」

*「PCRを無料で受けられるようにしてほしい」

国民健康保険料の値上げ中止を

区議 奥村あきこ



国民健康保険料は、2021年度も0.42%の値上げが予定されています。

試算では、「世帯主(40歳)+配偶者(40歳・収入なし)+子(10歳)」という3人家族のモデルケースで、年収200万円の場合の保険料は、251,591円と年収の12%を超えてしまいます。年収300万円以上の世帯も1割を超える保険料となります。保険料が家計に重くのしかかっています。

日本共産党区議団は、特別区として、一般財源をさらに投入するなどの努力を行い、保険料そのものを引き下げて行くことを求めています。

「中央区民アンケート」へ引き続きご協力をお願いします



スマホでも回答できます。ぜひご意見をお寄せ下さい。



◆無料法律相談会
4月13日(火)3時から
要予約

☎(控室) 03-3546-5563
☎(地区委員会) 3551-6820